



実証実験概要書

新眼科医療機器Smart Eye Cameraを用いた 包摂的な眼科診断モデルの実証の実証実験

株式会社OUI (OUI Inc.)

世界の
あしたが見えるまち。
TSUKUBA

提案に至る背景

つくば市をはじめ、日本の眼科医療に共通の課題が、患者さんが「症状が発症し、本当に悪くなるまで眼科受診に行かない」という課題があり、私たちが開発したスマホアタッチメント型医療機器Smart Eye Cameraを使って、その課題を解決したい。

実証実験の目的

これまで眼科受診をしていない/あまり積極的ではない市民の方々にSmart Eye Cameraを使った眼科のプライマリスクリーニングを実施し、従来眼科未受診であった患者の早期眼科受診による早期予防・治療による医療費削減を目指すとともに、つくば市民の眼の健康に対する意識を高めること。

実証実験の概要

- ・ 集会所や公民館などで住民がSECで自身の眼を撮影してセルフチェックを行い、眼科疾患と適切な眼科受診を啓発するイベントの実施
- ・ 学校健診でのSECの活用により、斜視・円錐角膜等の早期受診が必要な患者のスクリーニング・治療につなげるモデルの実証。
- ・ 地域の企業における、企業検診でSECを活用し、従来の眼科検査項目（視力・眼圧・眼底写真）では診断できない白内障・角膜疾患等の前眼部疾患の患者のスクリーニング・治療につなげるモデルの実証



検証したい内容

- ・ 地域の眼科医/非眼科医の先生方と連携し、SECとSEC Appを使った眼科診断モデルが作れるか。
- ・ これらのスクリーニングにより、どれくらい眼科受診が必要な患者が炙り出されるか。
- ・ (可能であれば)スクリーニングによって、どれくらいの患者さんが実際に眼科受診につながったか

市が行う支援内容

- ・ 実証実験場所の選定・調整・提供
- ・ 実証実験協力者の紹介・調整
- ・ 実証実験後のフィードバック

期待される効果・実現を目指す未来社会

- ・ 本実証を通じ、「非眼科を含む地域のクリニックがSECで眼科画像を撮影→スマートフォンを介して遠隔の眼科医や大学病院に送信→眼科医が診断→診断結果をスマートフォンで返信」という診療モデルを実現させ、眼科医の常駐していない地域においても、緊急時の非眼科医によるプレスクリーニングや、眼科診断の必要性に関する初期的な判断などを可能にしたい。
- ・ これにより、これまで眼科医の診断を受けることができなかった医療過疎地域の患者に、眼科医療を届けることが可能となる。離島部や過疎化の進む地方部などで有効な他、都市部においても、老健施設や人間ドッグ、企業検診など様々な場面において、眼科疾患を抱えながら眼科未診断の患者さんを炙り出し、わが国において眼科医療に対する包摂的なアクセスを実現させることを目指したい。
- ・ つくば市と共に、日本及び世界で最先端の眼科診療モデルを構築し、日本中及び世界中に発信していきたい。